

こどもクリニックニュース

NO. 270 令和4年7月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (2022年8月まで)

7月	19日	(火)	3才健診	騎西・健康福祉センター
	20日	(水)	1才半健診	加須・保健センター
8月	5日	(金)	3ヶ月健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、日程の変更があるかもしれません。

感染症の情報

すべての感染症は少ない状況が続いていますが、胃腸炎症状(発熱・嘔吐・下痢)の方がやや多いです。また手足口病やアデノウイルス感染症(プール熱)の患者さんが出てきたという話を耳にすることが増えてきました。ヘルパンギーナを含め、いずれも毎年夏を中心に流行していた病気です。新型コロナ感染予防対策の効果か、この2年間はほとんど流行がありませんでした。その結果これらの疾患に免疫を持たない子供たちが蓄積していますので、大規模な流行が起こる事を危惧しています。

休診の予定

8月24日(水)～31日(水)まで
夏季休診の予定です。



小児科休日診療の当番

令和4年10月までの当番一覧です。

加須市では、11月～3月は元日を除くすべての日曜祝日に、4月～10月は祝日に小児科休日診療を行っています。

7月	18日	(月)	福島小児科医院
8月	11日	(木)	つのだ小児科医院
9月	19日	(月)	ともながこどもC
	23日	(金)	福島小児科医院
10月	10日	(月)	ともながこどもC

※診療(受付)時間は12:00までです。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

熱中症に厳重注意!

6月下旬、季節外れの猛暑日の連続にびっくりしていたら、いきなり梅雨明け宣言が出され、こちらにもびっくりです。

まだまだ体が暑さに慣れていません。お子様の体調管理とりわけ熱中症予防をお願いします。乳幼児は自分で衣服の調節や水分補給ができないので、お母さまや周囲の方々に十分注意してほしいものです。エアコンは積極的に利用しましょう。

コロナ対策としてマスクや三密回避は大切ですが、皆で大声を出すような状況でなければ、室外でのマスク着用は不要です。



朝長高太郎医師 外来診療再開予定です

研修のためにしばらく中断していましたが、7月より診療を再開する予定です。診療日は金曜日午後、毎月2回を予定しています。

新型コロナウイルス感染症

当院の発熱外来と陽性者の推移

当院では小児を対象とした発熱外来を実施し、新型コロナ感染の疑いのある方に対して抗原定性検査を主体とする検査を行ってきました。

昨年の8月頃（いわゆる第5波）より散発的に陽性者が見つかりましたが、本年1月後半から急増し、第6波のピークとなった2月には1日で15～25名程度の新規陽性者を診断しました。この頃は「感染経路不明の陽性者」が増えてきたため、ほぼ全ての発熱者を検査対象としていました。10歳未満の世代でも感染経路不明の陽性者が続出したことには驚きました。

2月だけで当院で診断した陽性者の人数は300名弱でした。3月も多くの陽性者が見つかりましたが減少傾向となり、4月以降になると新規陽性者数はさらに減少し、検査を実施した人数に対する陽性者の割合（陽性率）も激減しました。恐れていたゴールデンウィーク後の再拡大もなく、6月の新規陽性者数は毎週数名程度で、そのほとんどは家族内や友人に感染者がいる、いわゆる濃厚接触者でした。

現在、新型コロナ感染者は少なくなってきたとはいえ、当地域でも全国レベルでも感染が継続しています。油断すればいつ第7波が来ても不思議ではありません。

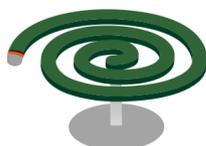
そのような訳で、

「発熱外来」は継続します

発熱のある方は受診の前に電話連絡をお願いします。

ただし最近の当地域の新型コロナ流行状況をふまえ、「発熱外来対象」として出入り口や診察室を別にするのは原則として、濃厚接触者とみなされている方、もしくは保育園や幼稚園、学校等で身近に感染者がいて、感染の可能性のある方とします。

それ以外の方は発熱の無い方と同様に正面玄関より出入りして頂き、受付・問診・診察を行います。医師が必要と判断した場合は検査を行います。また発熱があり検査を希望する方は事前にお申し出ください。



日本脳炎ワクチン

出荷調整は終了し、在庫は十分

5月末にワクチンの出荷調整がなくなり、希望通りに入荷するようになりました。現在当院のワクチンの在庫は十分です。（おそらく全ての医療機関も同じでしょう）

日本脳炎ワクチン接種希望の方はご連絡をお待ちしています。インターネット予約も再開しています。



子宮頸がんワクチンの副反応

子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨が再開され、副反応についての相談を受ける機会が増えてきました。

子宮頸がんワクチン接種が開始された直後より、ワクチン接種後の「全身の痛み」が問題になり、積極的な勧奨が中断されていました。その後専門家による調査が行われた結果、子宮頸がんワクチン接種の有無に関わらず、一定の頻度で全身の痛みが出現する方がいる事が判明しました。つまり痛みと子宮頸がんワクチン接種との因果関係はないという事であり、それに基づき今回、積極的な接種の勧奨が再開されました。

接種対象となっている方には、是非ワクチン接種を受けることをお勧めします。

当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



と
も
な
が
こどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150